

養成部門

- ・入学資格は高校卒業程度
- ・希望入寮制

※将来自営就農を目指す学生は、2年次に自営就農に必要な知識・技術を学び具体的な就農計画を作成する「就農準備コース」の選択が可能。

科名	専攻	定員	修業場所	修業年限
農業科	有機農業	45人	大田市波根町	2年
	野菜			
	果樹			1年
	肉用牛			
林業科	短期養成コース	20人	飯石郡飯南町上来島	2年
	早期養成コース			1年

有機農業専攻



自家製のぼかし肥料や培養土、機械除草、天敵やネット被覆等のIPM防除技術等を用いて、水田では水稻、大豆及び露地野菜、畑地では施設及び露地で多品目野菜を栽培しています。また、GPSトラクター、リモコン除草機及び環境モニタリング装置等の最新機械類も導入し、スマート農業にも取り組んでいます。さらに、県内の有機農業経営体への視察や短期研修を通じて、より実践的な栽培技術や販売、経営手法などを学ぶことができます。

野菜専攻



ミニトマト、アスパラガス、メロン、キュウリ、イチゴなどの生産計画を学生自らが立てて栽培に取り組んでいます。資材類の選定をはじめ、は種から収穫・調製までを一貫管理することで早期の技術習得が可能です。また、環境制御機器や養液栽培技術を活用した高度な野菜栽培も学ぶことができます。

果樹専攻



ブドウのハウス栽培を中心に、果樹の生産管理はもとより、苗木づくりや若木育成など、果樹経営に必要な技術・知識を習得します。特に、ブドウでは本県育成のオリジナル品種「神紅」の試験栽培にも取り組んでいます。県版GAPである「美味しまね認証」にも取り組み、これからの新しい農業経営スタイルを目指した、より実践的な考え方を磨きます。

肉用牛専攻



家畜飼養管理、家畜繁殖及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身に付けます。農場では繁殖・肥育一貫経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身に付け、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格取得にも挑戦します。

短期養成コース



卒業後、速やかな就農に向けて、カリキュラム（農業科の基礎講義、就農予定地の先進農家での実践研修、県内外の第一線で活躍する講師を招いた特別講義、学校ほ場での農業実習、就農に必要な資格・免許の取得など）を自身の就農ビジョンに合わせてカスタマイズすることで、農業経営者に必要な知識・技術を短期間で習得することができます。

早期養成コース



「森林を守り、育て、活かす」という視点に立って、実践的な森林管理や高性能林業機械等を活用した木材の伐採・造材・搬出、労働安全に関する技術や資格を、実習主体のカリキュラムによって習得します。また、ICT機材の利用や企業経営についても学習し、森林の経営・管理、木材生産、事業体経営に向けた即戦力となる人材を養成します。（2年次に「森林技術コース」又は「経営管理コース」を選択）

早期養成コース



森林・林業に関する基本的な知識や技術を習得するとともに、労働安全に関する各種の資格取得、実践を想定した実習や林業事業体での現場研修等により、林業現場において即戦力となる人材を短期間で養成します。